

- 1 主題名 みんなで使う物や場所だから【内容項目 C(11) 規則の尊重】
- 2 ねらい 約束や社会のきまりの意義について理解を深め、公共の物や公共の場を使うときの約束や社会のきまりを進んで守ろうとする判断力を養う。
- 教材名 「あめだま」(「小学校 道徳の指導資料とその利用1」文部省)



3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

社会生活を送る上で、児童一人一人が相手や周りの立場に立った公共心や公德心を培うことは、よりよい人間関係を築き、集団生活を円滑に行っていくための基盤として、大変重要なことである。特に、人と人が仲間をつくり、よりよい人間関係を形成する上では、自分の思いのままに行動するのではなく、集団や社会のために自分が何をすればよいのか、また、自分に何ができるのか、自他の権利を十分に尊重する中で果たすべき自らの義務を考える必要がある。そして、社会集団を維持・発展させていくために、公共物や公共の場を利用する際には、他者の気持ちや立場を尊重しながら、進んで約束やきまりを守って行動する態度にまで広げていく必要がある。そこで、約束や社会のきまりの意義について理解させ、自ら進んでそれらを守るための判断力を養いたいと考える。

(2) 児童の実態

この時期の児童は、気の合う仲間や集団の中にきまりをつくり、自分たちの仲間や集団及び自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。また、一人一人が身近な生活の中で、約束や社会のきまりと公共物や公共の場との関わりについて考えることは少ない。自分の物については執着する反面、公共物や公共の場となると、自分の気の向くままに振る舞う傾向もある。

このような発達の特性を生かし、一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解し、それらを守るように指導していくことが大切であると考えられる。さらに、社会集団を維持発展する上で、社会生活の中において守るべき道徳としての公德を進んで大切にすることを広げていく必要がある。そこで、社会一般の約束や社会のきまりについての理解を基盤にし、公共の場できまりを守ることができない人間的な弱さや、自律的にきまりを守ろうとすることのよさに目を向けさせる。公德心に基づいて、自ら進んで社会生活における約束や社会のきまりを守っていこうとする判断力を養いたい。

(3) 教材の活用について

本教材は、電車の中で、妹が床にこぼした小さなあめだまを、一生懸命に拾っている一人の女の子の姿に、ちょうど乗り合わせていた「わたし」が感動し、すがすがしい気持ちになった、という話である。妹がこぼしたあめだまを拾う女の子の自然な姿を自分のこととして考えることができるようにBGMを活用したり、場面絵をプレゼンテーションソフトで大きく投影したりするなど、教材の提示を丁寧に行う必要がある。また、公德心に基づいて行動しようとする女の子について、多面的・多角的な視点で考えさせることで、ねらいとする道徳的価値の理解を深められるようにしたい。

4 学習指導過程

	学習活動 (○主な発問 ◎中心となる発問 ・予想される児童の反応)	◇指導の留意点
導入	<p>1 アンケートの結果を見て、「約束や社会のきまり」について現在の自分を振り返って考える。</p> <p>○みんなで使う物や場所には、どんなものがありますか。</p> <p>・公園、図書館、学校、駅のトイレ、ポスト</p> <p>○みんなの物や場所を使うとき、どんなことを考えて使っていますか。</p> <p>・公園ではごみを捨てずに持って帰る。</p>	<p>(事前アンケートより)</p> <p>◇「約束や社会のきまり」について、一人一人の児童に、自分の経験を振り返って考えさせる。</p>
展開	<p>2 教材「あめだま」を読んで話し合う。</p> <p>○噛み終わったチューインガムを踏んでしまった「わたし」は、どんなことを考えたでしょう。</p> <p>・どうしてこんなところに捨てるんだろう。</p> <p>・迷惑だな。自分勝手な人だな。</p> <p>◎道や駅にチューインガムを捨ててしまう人と、妹がこぼしたあめだまを拾おうとする女の子と、どんなところが違うのでしょうか。</p> <p>・捨てた人は自分のことしか考えていなかったけど、女の子は周りの人のことも考えていた。迷惑にならないようにしていた。</p> <p>・捨てた人はみんなの場所とは考えていなかった。女の子はみんなが使う場所だからきれいにしないといけないと思っていた。</p> <p>・女の子は自分が落とすわけじゃないけど、みんなの場所だから拾った。</p> <p>○女の子の姿を見て、「心のおくりもの」をもらったような気がしている「わたし」は、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>・みんなに迷惑をかけないように、行動した女の子はすごいな。</p> <p>・他の人のことを考えて、きれいに使うことが大切だと思った。</p> <p>・お互いにちゃんと使うと気持ちがいいな。</p> <p>3 自分の生活を振り返って考える。</p> <p>○みんなの物や場所を使うとき、あなたはどのように使おうと考えますか。</p> <p>・自分のすることが、他の人の迷惑にならないか考えてから使う。</p>	<p>◇捨ててしまう人間の弱さに着目させる。</p> <p>◇少人数グループで考えを交流させる。話し合い活動中の児童の意見を把握しておき、全体での話し合いに生かす。</p> <p>◇女の子自身が汚したわけではないが、公共の場であるから、周りの人のことを考え、きれいにしようとしていたことを押さえる。</p> <p>◇導入のアンケート結果を振り返らせ、自分との関わりで「約束や社会のきまり」を捉えさせる。</p> <p>◇ワークシートの活用</p>
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>◇みんなで使う物や公共の場を大切にしようとする姿を見た経験について話し、判断力を高めさせる。</p>

5 評価

- ・公共の場で、妹が落としてしまったあめだまを拾う女の子の考え方に触れることを通して、約束や社会のきまりについて自分との関わりで考えを深めることができたか。
- ・約束や社会のきまりを進んで守る大切さについて考えることができたか。

授業記録

		学習活動 (T：教師の発問、問いかけ C：児童の発言、反応)	
導 入		<p>1 アンケートの結果を見て、ねらいとする価値について現在の自分を振り返って考える。</p> <p>T：学校や地域にあるみんなで使う物や場所には、どんなものがありますか。アンケートの結果、特に多かったものを挙げました。</p> <p>T：使う場所の第一位は「公園」。第二位は「図書館」。第三位は「コンビニエンスストア」でした。その他、「電車」や「学校」という人もいました。</p> <p>C：あっ、私も公園って書いた。</p> <p>T：使うもの、第一位は「自動販売機」。第二位は「すべり台やブランコ等の遊具」でした。</p> <p>C：私は、駅のトイレって書いたよ。</p> <p>T：「みんなの物や場所を使うとき、どんなことを考えて使っていますか。」という質問に対しては、「きまりを守って使う。」や「きれいに使う。」「迷惑にならないように使う。」という人が多かったです。それから、「特に考えていないよ。」という人もいました。</p> <p>C：きまりを守って使うって書いた。</p> <p>T：今日は、みんなの物や場所について、どのように使うのか、それはどうしてなのかを考えていきたいと思います。</p>	
展 開		<p>2 教材「あめだま」を読んで話し合う。</p> <p>問う</p> <p>発問1</p> <p>T：噛み終わったチューインガムを踏んでしまった「わたし」は、どんなことを考えたでしょう。</p> <p>C：不愉快な気持ち。</p> <p>C：ぼくもそう思う。</p> <p>T：不愉快な気持ちって思う人は他にもいますか。同じ考えの人はグーで教えてください。</p> <p>C：(学級の三分の一の児童が挙手)</p> <p>C：やっぱり、納得がいけない気持ち。</p> <p>T：納得がいけないってどういうことだろう。</p> <p>C：どうしてこんなところにガムが落ちているんだ、という気持ちだと思う。</p> <p>C：ガムはティッシュに包んで捨てればいいのに、と考えていたと思う。</p> <p>C：自分の迷惑にもなるし、人の迷惑になるから、ガムを捨てないでほしい。</p> <p>T：なるほど、わたしは迷惑だな、不愉快だなという気持ちになったり、ガムをちゃんと捨てて欲しいと考えたりしたのですね。このような出来事から次に、「わたし」は電車の中で、妹を連れて女の子に出会いました。そして、その女の子が妹のこぼしたあめだまを拾うところを見ました。</p> <p>発問2</p> <p>T：道や駅にチューインガムを捨ててしまう人と、妹がこぼしたあめだまを拾おうとする女の子と、どんなところが違うのでしょうか。まずは、自分でよく考えてください。この後、グループで、話し合います。</p> <p>[個人で考える時間]</p> <p>判断する</p> <p>[グループでの話し合い活動]</p> <p>C：女の子は、人の迷惑にならないようにした方がいいと考えたんだと思うよ。ガムを捨てた人は周りの人のことを考えていない。捨てる人は、誰かがやってくれると思っているんだよ。</p> <p>C：女の子は、妹が泣いたらかわいそうだから、あめだまを拾ったんじゃないかな。</p> <p>C：なるほど。妹もあめだまが転がって、どうしよう……と思ったのかも。</p> <p>C：もしあめだまを踏む人がいたら、あめだまは粉々になって広がってしまうでしょ。そうしたら、べとべとして、嫌がる人がいると思う。だから、女の子は拾ったんじゃないかな。</p> <p>C：付け足しで、お年寄りや小さな子があめだまを踏んで、転んだら危ないと思ったんだと思う。</p> <p>C：時間が経つと、ガムのようにべとべとして電車の中は汚れるから拾ったのだと思う。</p> <p>C：ガムを捨てた人は、自分のカバンやポケットを汚したくなかったから、捨てたのかも。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">座席表シート の活用</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">座席表シート の活用</p>

第3章 「道徳科」指導と評価
【実践編】

[全体での話し合い活動]

- T：グループで話し合ったことを教えてください。
- C：Aさんの意見を聞いて気付いたのですが、もし、あめだまを拾わずに、それを踏んだ人がいたら、あめだまは粉々になって、電車の床が汚れちゃうと思ったからだと思います。
- C：ガムを捨てている人は、そこを次に通る人のことを考えていないけど、女の子は、次に電車に乗る人のことを考えていると思います。
- C：女の子は、あめだまを落としたままにしておく、車掌さんや駅員さんに迷惑をかけると思ったのだと思います。
- T：女の子は、面倒くさいという気持ちはなかったのかな。だって、床に落ちたあめですよ。
- C：でも、まだ食べていないあめだまだから拾えるよ。
- C：ガムを捨てた人は心が汚れているんだと思う。女の子は心がきれい。
- T：心が……という意見が出ましたが、ガムを捨ててしまう人って、特別な人なのでしょうか。何を考えて捨ててしまうのだろうか。
- C：ごみ箱が遠いとか、無かった時に面倒くさくて、その場に捨てるのだと思います。
- C：ガムを包む紙がなかったから、ごみ箱に捨てられなかったのかもかもしれません。
- C：誰も見ていなかったら、自分くらい、いいかもと思ったのかもかもしれません。
- C：捨てた人は人の気持ちを考えないで自分勝手だけど、女の子は人の気持ちを考えていると思います。女の子はえらいと思います。
- T：捨てた人はそんなことを考えていたのかもしれませんがね。たくさん意見が出てきました。では、捨てた人と、女の子はどんなところが違うんだろう。
- C：自分だけのことを考えているか、周りの人のことも考えているかが違う。
- C：みんなの使う所だから汚れても関係ない、みんなが使う所だからきれいにしないと、という思いの違いだと思います

発問3

- T：「わたし」は、女の子の姿を見て「心のおくりもの」をもらったような気がしました。女の子の姿を見た「わたし」は、どんなことを考えていたと思いますか。
- C：ガムを踏んだ時は不愉快な気持ちだったけれど、あめだまを拾う女の子の姿を見て、幸せな気持ちになったと思います。
- C：ガムを落とした人は、みんなに迷惑をかけたけど、女の子は、姉妹といっても自分のあめだまでないのに、拾う心の優しさがあるんだなと思いました。
- T：その姿を見て、「わたし」はどう思ったんだろう。
- C：落としたあめだまを拾う人もいるのに、ガムを落とした人は小さく見えた。
- C：自分ではなく、妹が落としたあめだまを拾っていたので、優しい子だなと思ったのだと思います。
- C：もし、次にチューインガムが落ちていたら、自分で拾えばいいんだと思った。
- T：女の子の姿を見て、いい気持ちになったり、これから自分はどうしようかなと「わたし」は考えたりしたのかもかもしれません。
- 3 自分の生活を振り返って考える。

気付く

発問4

- T：みんなの物や場所を使うとき、あなたはどのように使おうと考えますか。
(ワークシートに記入)

ワークシートの活用

[全体での話し合い活動]

- T：ワークシートに書いたことを発表しましょう。
- C：自分もみんなも気持ちよく使えるように、ルールを守って使うようにしたいです。
- C：図書館では、いろいろな人が長く本が読めるように、本や本棚を丁寧に使いたい。
- C：公園にごみが落ちていたら、自分が落としていないごみだったとしても、そこを使う人のことを考えて、拾ってきれいに使いたいです。

終末

- 4 教師の説話を聞く。
- T：つい最近、お話と似たようなことがありました。この前、駅の周りでお祭りが開かれました。たくさんの人たちが訪れ、大変賑わいました。その日、駅周辺のごみ箱から、ごみがあふれていました。お祭りの次の日、駅に向うと、駅周辺は少しも汚れていなくて驚きました。駅員さんに話を聞くと、ボランティアの方や地域の方が、みんなで掃除をしてくださったそうです。ボランティアの方や地域の方は、どんな気持ちで掃除をしているのでしょうか。お祭りの時にごみを捨てていく人と、掃除をしてくださる人とでは、何が違うのでしょうか。

観察対象児童Nの学びの姿からの見取り

《本時のねらいに関わって、児童Nへの教師の意図》

事前アンケート「みんなの物や場所を使うとき、どんなことを考えて使っていますか。」では、「図書館で、本をたくさん読みたいという気持ちで使っている。」と回答した。チューインガムを踏んでしまった「わたし」、電車内で妹がこぼしたあめだまを拾った女の子を見た「わたし」の姿を通して、公共の物や場所を使うときの約束や社会のきまりの大切さを感じ取らせたい。

《道徳科の授業における児童Nの姿》

- ・集中力が続かないことがある。
- ・授業の中で挙手し、発表することはほとんどないが、友達の発言に敏感でつぶやくことが多い。
- ・ワークシートには、書いたり書かなかったりする。

評価の場面	評価の方法	児童の活動や反応の場面
「問う」場面	座席表シート	発問1 チューインガムを踏んでしまった「わたし」の気持ちを考える。 (挙手をして、発言をする。)
「判断する」場面	座席表シート	発問2 チューインガムを捨てる人と、女の子との違いを考える。 (挙手をして、発言をする。)
「気付く」場面	ワークシート	自己評価 (「今日の学習をふり返りましょう。」)の項目で、全項目に◎を記入している。記述なし。

児童Nの授業記録

	学習活動 T：教師の発問、問いかけ	N：児童の発言、反応
展開	発問1 T：噛み終わったチューインガムを踏んでしまった「わたし」は、どんなことを考えたでしょう。 C：ぼくもそう思う。 T：不愉快な気持ちって思う人は他にもいますか。同じ考えの人はグーで教えてください。 C：(学級の三分の一の児童が挙手) T：納得いかないってどういうことだろう。 C：どうしてこんなところにガムが落ちているんだ、という気持ちだと思う。	N：挙手をする。 N：不愉快な気持ち。 N：さらに挙手をする。 N：やっぱり、納得がいけない気持ち。
	発問2 T：女の子は、面倒くさいという気持ちはなかったのかな。だって、床に落ちたあめですよ。	N：挙手をする。 N：でも、まだ食べていないあめだまだから拾えるよ。もし、人が踏んじゃったりしたら、靴の裏がベタベタになるから、人が困ると思うよ。

【学習状況の見取り】

教材の登場人物の行動から約束や社会のきまりについて考えることを通して、約束や社会のきまりを守らない人がいると、周りで迷惑する人がいることに気付くことができた。また、女の子があめだまを拾おうとした判断がどこにあるのかについて考えることができた。

観察対象児童Sの学びの姿からの見取り

《本時のねらいに関わって、児童Sへの教師の意図》

事前アンケート「みんなの物や場所を使うとき、どんなことを考えて使っていますか。」では、「人の迷惑にならないようにしている。汚さないように使っている。」と回答した。電車内で妹がこぼしたあめを拾った女の子を見た「わたし」の姿を通して、約束や社会のきまりについてどのように向き合っていきたいか、考えを深めさせたい。

《道徳科の授業における児童Sの姿》

- ・自分の考えをしっかりとっており、挙手も多い。
- ・ワークシートに詳しく記述することができる。

評価の場面	評価の方法	児童の活動や反応の場面
「問う」場面	座席表シート	発問1 チューインガムを踏んでしまった「わたし」の気持ちを考える。 (挙手をして、発言をする。)
「判断する」場面	座席表シート	発問2 チューインガムを捨てる人と、女の子との違いを考える。 (積極的に話し合い、考えを深める。)
「気付く」場面	ワークシート	自己評価 (「みんなのものや場所を使う時、あなたはどんな気持ちで使ったらいいと思いますか。)」の項目で、理由も付けて、考えを記述している。

児童Sの授業記録

	学習活動 T：教師の発問、問いかけ	S：児童の発言、反応
展開	発問2 T：道や駅にチューインガムを捨ててしまう人と、妹がこぼしたあめだまを拾おうとする女の子と、どんなところが違うのでしょうか。まずは、自分でよく考えてください。この後、グループで、話し合います。 [グループでの話し合い活動] [全体での話し合い活動] T：グループで話し合ったことを教えてください。	S：4人グループで話し合う。児童Sはグループでも全体でも積極的に発言をする。 S：捨てた人は人の気持ちを考えないで自分勝手だけど、女の子は人の気持ちを考えていると思います。女の子はえらいと思います。
	発問3 T：「わたし」は、女の子の姿を見て「心のおくりもの」をもらったような気がしました。女の子の姿を見た「わたし」は、どんなことを考えていたと思いますか。	S：ガムを落とした人は、みんなに迷惑をかけたけれど、女の子は、姉妹といっても自分のあめだまでないのに、拾う心の優しさがあるんだなと思いました。

【学習状況の見取り】

事前アンケートや授業の前半では、約束や社会のきまりを守ることにについて、人への迷惑を考慮することが大切であると考えていたが、グループや学級で話し合うことを通して、約束や社会のきまりを大切に人の心の優しさに気付くことができ、約束や社会のきまりを守るよさについて更に考えを深めることができた。

道とく科 第()回 ()月()日

よりよく生きるシート

名前()

☆みんなのものや場所をつかうとき、あなたはどんな気持ちでつかっただらいいと思いますか。(理由も)

☆今日の学習をふり返りましょう。

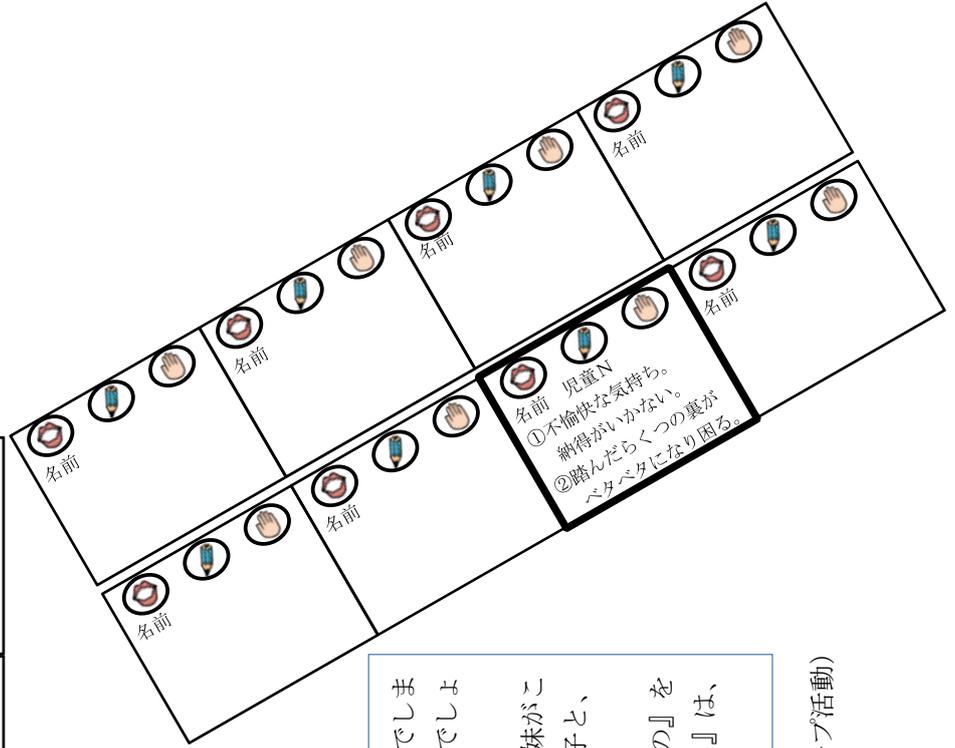
(とてもよくできた・・・◎ できた・・・○ あまりできなかつた・・・△)

①	お話のとう場人物の気持ちを考えることができた。	
②	しゅ人こうと自分とをくらべて考えることができた。	
③	自分のけいけんをふり返って考えることができた。	
④	自分の考えを進んで発表しようとした。	
⑤	自分の考えを書くことができた。	
⑥	友達の考えのよさを見つけることができた。	
⑦	自分がこれからどうしたらよいか、考えることができた。	

Aタイプ

◆ 個へのアプローチで見る座席表シート ◆

名前 ②捨てる人は、「ゴミ箱が溢れから」、「面倒くさいから」という理由で捨ててしまう。	名前 ②捨てる人は、「誰かがやってくれ」と思っている。 ③幸せな気持ち。	名前 ②女の子は、次に使う人のことも考えている。	名前 ②電車の中が汚れるから拾ったんだと思う。	名前 ①不愉快。	名前 ②捨てる人は、「ゴミ箱が溢れから」、「面倒くさいから」という理由で捨ててしまう。	名前 ②女の子は、次に使う人のことも考えている。	名前 ②電車の中が汚れるから拾ったんだと思う。	名前 ①不愉快。
--	--	-----------------------------	----------------------------	-------------	--	-----------------------------	----------------------------	-------------



発問①「噛み終わったチューインガムを踏んでしまった『わたし』はどんなことを考えたでしょう。」

発問②「道や駅にガムを捨ててしまう人と、妹がこぼしたあめだまを拾おうとする女の子と、どんなところが違うのでしょうか。」

発問③「女の子の姿を見て、『心のおくりもの』をもらったような気がしている『わたし』は、どんなことを考えていたでしょうか。」

- 友達のを聞いて共有する (グループ活動)
- 自分の考えを書く
- 自分の考えを言う

黒板